

湖南高校における学校図書館の取り組み

1. 学校の概要

- ①所在地：郡山市湖南町福良字ノ上 8453-1
- ②学級数・生徒数（令和4年12月1日現在）：3学級（全学年1学級）全校生徒56名
- ③学校図書館の蔵書数：6870

2. 本校における読書推進活動の取り組み

①図書館の整備

著しく利用頻度の低い図書、破損・汚損が激しい図書を除籍、須賀川高校と統合した長沼高校より本約680冊の管理換えを行い、蔵書の入れ替えを計った。また、館内のレイアウトを大幅に変更し、利用者が使いやすい図書館・利用者の興味関心に応えることができる図書館づくりを心がけた。

②企画展示

生徒に本や読書に関心を持ってもらうため、年中行事や学校行事などに合わせた本の展示や、新着図書の展示を定期的に入れ替えながら行っている。また、本の展示だけでなく、行事に沿った小物なども併せて展示している。



【七夕展示】



【クリスマス貸出】



【節分展示】



【新着図書展示】

③全校ビブリオバトル

今年度から全校行事として「全校ビブリオバトル」を行った。この大会は、2年前に始まり、有志生徒のみの参加したミニビブリオバトルであったが、より多くの生徒に本に興味を持ってもらうため、今年度より全校行事として実施した。



【当日の様子①】



【当日の様子②】



【当日の様子③】

④朝読書

読書習慣の定着とリーディングスキルの向上を目的に定期的に朝読書を行っている。朝読書の際に、図書館から「朝読書出張文庫」として30冊ほど、朝読書の期間中に教室への貸出を行っている。

⑤学校司書と学ぶリーディングスキル

生徒のリーディングスキルの向上と、読書に親しみを持つことを目的に、学校司書が講師となり各学年2時間ずつ講座を実施している。ビンゴゲームを用いて情報収集の方法を学ぶ講座や、人狼ゲームを用いてリーディングスキルの向上、読書への親しみが持てるような講座を行っている。



【BOOK ウルフの様子】



【調べ物ビンゴの様子】



【百科事典を用いたゲームの様子】

3. コミュニティースクールにおける図書館の取り組み

①民話プロジェクト

このプロジェクトは、湖南町の文化である民話に触れ、親しむことで湖南の魅力を体感し、生徒が主体的に発信することで本校及び湖南町の活性化に繋げることで、湖南民話を絵本や紙芝居などに再構築することでリーディングスキルの向上を目的として行っている。地元の方を講師としてお招きし、民話を練習する。今年度は三年に一度開催される「菱の実祭（文化祭）」で、図書委員及び有志の生徒が湖南民話の発表や湖南町の郷土料理の紹介を行った。



【練習の様子①】



【練習の様子②】



【本番の様子①】



【本番の様子②】

②地域カダイ探究・地域ミライ探究

本校では1学年が「地域カダイ探究」、2学年が「地域ミライ探究」に取り組んでいる。この授業は総合的な探求の時間に行われ、各学年が地域理解や商品開発に取り組んでいる。地域の方を招いて行うインタビューの場や、インタビューを行う下準備を進める場として図書館が利用されている。



【インタビューの様子】